

東京保険医協会

「予防接種・子ども医療費助成制度 データ」

2021年9月

## ■ 2021年度 都内の区市町村における予防接種助成状況

### 凡例

1. 対象者、助成額に関わらず自治体として助成を行っているものを「●」と表記した。その他、特筆すべき箇所は「■」「◎」「○」等も使用している。
2. 「麻しん・風しん（未接種者向け）」は、各区市町村によって対象者の要件が異なる（ex. 18歳までの定期未接種者のうち接種歴が1回もしくは0回の者）。
3. 2021年7月末時点の状況を調査したものであり、その後に変更や新しい制度が開始するなど内容が変更となっている可能性もある。

### 【 区部 】

区市町村	BCG			おたふく	季節性 インフル エンザ	麻しん・風しん (未接種者向け)		子どもの里帰り出産	
	個別	集団	相互乗入			第1期 (1歳児)	第2期 (小学校入学前年)	償還払い (23区外で接種)	他自治体から の里帰り
1 千代田区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	—
2 中央区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	—
3 港区	●	—	● ※1	×	●	●	●	●	—
4 新宿区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
5 文京区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	—
6 台東区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	◎
7 墨田区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●	●
8 江東区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●	●
9 品川区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	—
10 目黒区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	◆
11 大田区	●	—	● ※1	×	● ※17	●	●	●	—
12 世田谷区	●	—	● ※1 <small>※1B 十国布市、三鷹市</small>	×	●	●	●	●	—
13 渋谷区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	●
14 中野区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	＝
15 杉並区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●
16 豊島区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	●
17 北区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	—
18 荒川区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	—
19 板橋区	●	—	● ※1	●	×	●	●	●	—
20 練馬区	●	—	● ※1 <small>※1+武蔵野市</small>	●	×	●	●	●	●
21 足立区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●	—
22 葛飾区	●	—	● ※1	●	●	●	●	●	—
23 江戸川区	●	—	● ※1	×	×	●	●	●	—

※1：2016年4月から、23区内でBCGの相互乗入を開始。これにより、全ての子どもの定期接種は相互乗入が可能に。

【多摩】

区市町村	BCG			おたふく	季節性 インフル エンザ	麻しん・風しん (未接種者向け)		子どもの里帰り出産	
	個別	集団	相互乗入			第1期 (1歳児)	第2期 (小学校入学前年)	償還払い (域外で接種)	他自治体から の里帰り
24 八王子市	●	—	● ※2	●	×	●	●	●	▼ ※22
25 立川市	●	—	×	×	●	×	×	●	▼ ※22
26 武蔵野市	●	—	● ※3.5+練馬区	●	×	●	●	●	◆
27 三鷹市	●	—	● ※3.4.6+世田谷区	×	×	●	●	●	—
28 青梅市	—	●	×	×	×	×	×	—	▼ ※22
29 府中市	●	—	● ※7.10.11	×	×	●	●	●	◆
30 昭島市	●	—	×	●	●	×	×	●	—
31 調布市	●	—	● ※4.9.11 +世田谷区	●	×	●	●	●	—
32 町田市	●	—	● ※2+相模原市	×	×	●	●	●	▼ ※22
33 小金井市	● ※12		● ※5.6.7	●	×	●	×	●	—
34 小平市	▲ ※13	●	×	×	×	×	×	●	—
35 日野市	—	●	● ※2	×	×	●	●	●	—
36 東村山市	—	●	×	×	×	×	×	●	▼ ※22
37 国分寺市	●	—	×	×	●	×	×	●	▼ ※22
38 国立市	●	—	● ※10	×	● ※17	×	×	●	—
39 福生市	—	●	×	×	×	×	×	● ※18	●
40 狛江市	●	—	● ※8.9	×	×	×	×	●	●
41 東大和市	●	—	×	×	×	●	●	●	▼ ※22
42 清瀬市	—	●	×	×	●	×	×	●	▼ ※22
43 東久留米市	—	●	×	▲ ※16	×	×	×	●	◆
44 武蔵村山市	●	—	×	×	×	×	×	● ※18	＝
45 多摩市	●	—	● ※2	×	×	×	×	●	●
46 稲城市	● ※14		● ※2	×	×	×	×	●	—
47 羽村市	—	●	×	×	×	×	×	● ※18	—
48 あきる野市	●	▲ ※15	×	×	×	×	×	—	◆
49 西東京市	—	●	×	●	×	●	●	● ※19	●
50 瑞穂町	—	●	×	●	●	●	●	—	—
51 日の出町	—	●	×	×	×	×	×	—	—
52 檜原村	●	—	×	●	●	×	×	● ※20	—
53 奥多摩町	●	—	×	×	●	×	×	— ※21	—

- ※ 2：南多摩保健医療圏5市で、BCGを含めた子どもの定期接種の相互乗入を実施（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）
- ※ 3：2019年4月からBCGの相互乗入開始（武蔵野市 ↔ 三鷹市）
- ※ 4：2019年4月からBCGの相互乗入開始（三鷹市 ↔ 調布市）
- ※ 5：2021年4月からBCGの相互乗入開始（武蔵野市 ↔ 小金井市）
- ※ 6：2021年4月からBCGの相互乗入開始（三鷹市 ↔ 小金井市）
- ※ 7：BCGの相互乗入について2021年4月から医師会間で個別契約を締結（府中市 ↔ 小金井市）
- ※ 8：2021年4月からBCGの相互乗入開始（世田谷区 ↔ 狛江市）
- ※ 9：2021年4月からBCGの相互乗入開始（調布市 ↔ 狛江市）
- ※ 10：BCGの相互乗入について2021年4月から医師会間で個別契約を締結（府中市 ↔ 国立市）
- ※ 11：BCGを含めた子どもの定期接種の相互乗入を実施（府中市 ↔ 調布市）
- ※ 12：2021年4月から「個別接種」でも対応。2021年8月以降は「個別接種」のみ（小金井市）
- ※ 13：「集団接種」がメインだが「個別接種」も可能（小平市）
- ※ 14：原則として、稲城市保健センターで実施する「集団接種」による（稲城市）
- ※ 15：「個別接種」がメインだが2022年2月～3月は「集団接種」も実施予定（あきる野市）
- ※ 16：東久留米市医師会として「おたふくかぜ」の予防接種費用の助成を独自に実施（東久留米市）
- ※ 17：2021年10月からインフルエンザワクチンの助成を実施（大田区、国立市）
- ※ 18：2021年度から里帰り出産等により市外で接種した「子どもの定期接種」費用の償還払いを開始（福生市、武蔵村山市、羽村市）
- ※ 19：2021年7月から里帰り出産等により市外で接種した「子どもの定期接種」費用の償還払いを開始（西東京市）
- ※ 20：里帰り先で長期に滞在する事情などを考慮のうえ、個々の事例で償還払いを実施（檜原村）
- ※ 21：単なる里帰り出産による償還払いは行っていないが、治療等の理由から町内での接種が困難な場合には償還払いを実施（奥多摩町）
- ※ 22：依頼元の自治体との間で、相互の受け入れに合意している自治体からの里帰り出産のみ、予防接種の費用を助成。（八王子市、立川市、青梅市、町田市、東村山市、国分寺市、東大和市、清瀬市）

## 2021年度 MRワクチン未接種者に対する任意助成制度の状況（23区）

東京保険医協会まとめ（2021年9月作成）

※任意接種の助成対象年齢のうち、定期接種対象者は除く。2017・2018年度は以下のような動きがあったが、2019・2020年度に続き**2021年度も変更はなかった。**

- ・2017年度 対象者・補助回数を**拡充**：足立区（最大2回へ）**新設**：板橋区（ただし自己負担あり）
- ・2018年度 **新設**：港区 対象者を**拡充**：中野区

### A) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応し、期間内であれば最大2回まで補助

例えば対象年齢が2歳～18歳の場合、15歳の時点で1度も接種していないことが分かった場合でも2回分の費用は助成が受けられる。

「2歳～18歳まで」とまとめている自治体と、「2歳～2期接種前／小学校1年生～18歳まで」など時期を分けている自治体があるが、全期間通じて2回の接種機会を確保する。

2歳～19歳	目黒区
2歳～18歳	千代田区、新宿区、台東区、墨田区、中野区、豊島区、北区、荒川区、練馬区、足立区、葛飾区 (年度中1回のみ) 中央区、港区、大田区、渋谷区
2歳～小学4年	江東区
本人負担：なし（いずれも無料）	

### B) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、期間内はそれぞれ1回分の補助

あくまで各期の終了直後をフォローするものであり、小学1年以降に1期接種漏れが発覚した場合は1期漏れ分の助成を受けられない。

①2歳～2期対象前、②小学1年～6年、③中学1年～19歳	文京区 ※
①2歳～2期対象前、②小学1年～6年	杉並区、江戸川区
①2歳～2期対象前、②小学1年のみ	世田谷区
本人負担：なし（いずれも無料）	

※ 文京区は2期接種漏れの者については②か③どちらか1回のみ助成。

### C) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、通算して1回分の補助

対象年齢であればいつ申請しても構わないが、費用は1回分しか出ない。

2歳～18歳（全期間通じて1回）	品川区
本人負担：なし（1回のみ）	

### D) 条件はAと同じ、ただし「自己負担」あり

対象者などの条件は「A」と同じだが、利用希望者は自己負担が発生する。

2歳～18歳	板橋区
本人負担： <u>あり</u> （麻しん・風しん混合ワクチン：1,000円／単体ワクチン：500円）	

### E) 助成制度なし

助成制度なし	なし
--------	----

以上

## 2021年度MRワクチン未接種者に対する任意助成制度の状況（多摩）

東京保険医協会まとめ（2021年9月作成）

※ 任意接種の助成対象年齢のうち、定期接種対象者は除く。

2020年度に続き **2021年度も変更はなかった。**

### A) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応し、期間内であれば最大2回まで補助

例えば対象年齢が2歳～18歳の場合、15歳の時点で1度も接種していないことが分かった場合でも2回分の費用は助成が受けられる。

「2歳～18歳まで」とまとめている自治体と、「2歳～2期接種前／小学校1年生～18歳まで」など時期を分けている自治体があるが、全期間通じて2回の接種機会を確保する。

2歳～18歳（全額）	武蔵野市、三鷹市、日野市 (年度中1回のみ) 八王子市、町田市
2歳～18歳（一部）	東大和市（1回につき5,000円を還付／ 市民の方が市外で接種を受けた場合も対象） 西東京市（1回につき自己負担5,800円）
2歳～小学6年（全額）	府中市
2歳～7歳6カ月未満（全額）	調布市

### B) 1期漏れ、2期漏れ、いずれにも対応するが、いずれか1回分の補助のみ

2歳～18歳（一部）	瑞穂町（5,000円を助成）
------------	----------------

### C) 1期漏れのみを対象とする／2期漏れは対応しない

1期終了～2期接種期間前の子どもを対象とし、2期漏れは対象にならない。

2歳～5歳未満（全額）	小金井市
-------------	------

### D) 助成制度なし

助成制度なし	立川市、青梅市、昭島市、小平市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町
--------	---

以上

# 大人の風疹抗体検査費用及び予防接種費用調査

東京保険医協会・地域医療部調べ（2021年9月作成）

※ 2021年度は変更点なし。

	抗体検査		予防接種		備考
	検査対象	検査費用	接種対象	接種費用	
千代田区	独自	無料	独自	無料	○ + 30～50歳代男性
中央区	○	無料	○	無料	
港区	独自	無料	独自	無料	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
新宿区	○	無料	○	自己負担額 MR：5,210円、風疹単独：3,140円	
文京区	○	無料	○	無料	
台東区	○	無料	○	無料	
墨田区	○	無料	独自	無料	接種対象は「郡基準」の対象者に加え、検査結果で接種が必要と認められる者
江東区	独自	無料	独自	無料	妊娠を予定または希望する19歳～49歳までの女性およびその同居者（19歳以上） 抗体価の低い妊婦の同居者（19歳以上）
品川区	○	無料	○	無料	
目黒区	独自	無料	独自	無料	妊娠を予定又は希望している女性およびその同居者。妊婦の同居者（いずれも19歳～59歳まで）
大田区	○	無料	○	無料	19歳以上の妊娠を予定または希望する女性およびその同居者（19歳以上）妊婦の同居者（19歳以上）
世田谷区	独自	無料	独自	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	「妊婦の同居者」は風しん抗体価の低い妊婦の同居者に限る。
渋谷区	○	無料	○	無料	
中野区	独自	無料	独自	無料	○ + 30～50歳代男性。
杉並区	独自	無料	独自	19歳以上49歳までの妊娠希望女性：全額助成 同居者：自己負担 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	19歳～49歳までの妊娠を希望する女性および19歳以上の同居者。19歳以上で抗体価の低い妊婦の同居者。 妊娠を希望する女性およびそのパートナーまたは同居者。妊婦のパートナーまたは同居者（いずれも19歳～69歳まで）
豊島区	独自	無料	独自	無料	
北区	独自	無料	独自	無料	昭和37年（1962年）4月2日から平成12年（2000年）4月1日生まれの方。
荒川区	独自	無料	独自	無料	
板橋区	独自	無料	独自	無料	【抗体検査】19歳～49歳の妊娠を希望する女性。妊婦の同居者。「妊婦」または「19歳～49歳の妊娠を希望する女性」のパートナー（19歳以上）【予防接種】抗体検査の結果、低抗体価の者。
練馬区	○	無料	○	無料	
足立区	独自	無料	独自	自己負担 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	検査対象は19歳以上の男女。接種対象は19歳以上の低抗体価の方。
葛飾区	独自	無料	独自	無料	検査対象は19歳以上の男女。接種対象は19歳以上の低抗体価の方。 2020年度から予防接種も無料化。
江戸川区	独自	無料	独自	無料	同居者は平成2年（1990年）4月1日以前に生まれた方。

八王子市	○	無料	○	無料	無料
立川市	○	無料	○	自己負担 MR：5,000円、風疹単独：3,500円	
武蔵野市	○	無料	○	自己負担額：4,000円	
三鷹市	○	無料	○	自己負担 MR：5,000円、風疹単独：1,745円	
青梅市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
府中市	○	無料	○	自己負担 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
昭島市	○	無料	○	無料	
調布市	○	無料	○	自己負担 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	
町田市	○	無料	○	無料	
小金井市	○	無料	○	自己負担 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
小平市	○	無料	○	自己負担 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
日野市	○	無料	○	無料	
東村山市	○	無料	○	自己負担 MR：1,040円、風疹単独：680円	
国分寺市	○	無料	○	無料	
国立市	○	無料	○	自己負担 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	
福生市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
狛江市	○	無料	○	自己負担 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	
東大和市	○	無料	○	無料	
清瀬市	○	無料	○	自己負担 1,000円	
東久留米市	○	無料	○	自己負担 MR：1,300円、風疹単独：750円	
武蔵村山市	○	無料	○	妊娠を予定または希望する女性：全額助成 同居者：自己負担 MR：4,500円、風疹単独：3,000円	
多摩市	○	無料	○	無料	
稲城市	○	無料	○	自己負担 MR：4,000円、風疹単独：3,000円	
羽村市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
あさる野市	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
西東京市	○	無料	○	自己負担 MR：5,800円、風疹単独：4,000円	
瑞穂町	○	無料	○	助成額 MR：5,000円、風疹単独：3,000円	
日の出町	○	無料	○	無料	
檜原村	○	無料	○	無料	
奥多摩町	○	無料	○	無料	

標準的な接種費用の約9割を助成。

※「○」は都基準に準ずる。都基準の対象は以下の通り。

・風しん抗体検査  
都内に住所を有する19歳以上で、以下に該当し、風しん抗体検査を希望する者

- (1) 妊娠を予定又は希望している女性
- (2) 妊婦の同居者
- (3) (1)の同居者

※ 国が行う緊急風しん抗体検査等事業の対象者等を除く。

- ・予防接種対象  
19歳以上で、以下のいずれかに該当する者
- (1) 妊娠を予定又は希望している女性
- (2) 妊婦の同居者
- (3) (1)の同居者

ただし、検査で接種が必要と認められる者に限る。  
(風しん第5期定期予防接種の対象者はそちらが優先)

## （補足）2021年度 都内の区市町村における予防接種助成状況

### ■ 里帰り出産等による予防接種費用の償還払い

協会が実施した2021年度調査によって、新たに**福生市**、**武蔵村山市**、**羽村市**、**西東京市**で「保護者の里帰り出産」への配慮として、居住地以外の里帰り先で接種した子どもの定期接種ワクチンの接種費用の償還払いを開始したことが明らかになるなど、昨年に引き続き、各自治体での取り組みが拡大した。これにより都内では計48自治体に制度導入が広がっている。

区 部：千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 計23区

多摩部：八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、**福生市**、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、**武蔵村山市**、多摩市、稲城市、**羽村市**、**西東京市**、檜原村 計25市町村

注）接種前に事前の手続き（依頼状申請など）が必要

注）「子どもの定期接種」だけでなく、一部の自治体では「高齢者インフルエンザ」や「成人用肺炎球菌」についても償還払いにしている自治体もある

注）里帰り先で長期に滞在する事情などを考慮のうえ、個々の事例で判断する自治体もある

### ■ 他自治体からの里帰り出産等への対応（予防接種費用）

他自治体に住所地がある女性が、両親の実家が東京都内にある等の理由から、都内に里帰りして出産、さらに子どもの定期接種も希望する場合の対応について、以下に大別した。

個々の自治体で方針が異なるものの、受け入れが叶った場合には都内の子どもと同様に、全額公費負担（保護者の負担なし）により接種が受けられる。

**中野区**、**武蔵村山市**が「他自治体からの里帰り出産等への対応」を**廃止**した。

区 部：新宿区、台東区、墨田区、江東区、目黒区、渋谷区、杉並区、豊島区、練馬区 計9区

多摩部：八王子市、立川市、青梅市、府中市、町田市、東村山市、国分寺市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、多摩市、あきる野市、西東京市 計16市

### < 主な受け入れ方針の例 >

- ▼ 依頼元の自治体で「償還払い制度がない」場合には受け入れ（7区、3市）
- ▼ 依頼元の自治体で「償還払い制度の有無」に関わらず受け入れ（1区）
- ▼ 依頼元の自治体との間で、相互の受入に合意している自治体からのみ受け入れ（8市）
- ▼ 依頼元の自治体で「償還払い制度がない」場合で、かつ長期に都内に滞在しなければならない事情を個々の事例で判断（1区、5市）

注）接種前に、居住地の自治体等での事前手続き（依頼状申請など）が必要

注）上記のほか、個々の事例により受け入れ可否の対応が異なる場合もある

図表 2021 年度 里帰り出産における「償還払い」「他自治体からの受け入れ」の概要

	償還払い (23 区外で接種)	他自治体から の里帰り
千代田区	●	—
中央区	●	—
港区	●	—
新宿区	●	● ※1
文京区	●	—
台東区	●	◎ ※2
墨田区	●	● ※1
江東区	●	● ※1
品川区	●	—
目黒区	●	◆ ※4
大田区	●	—
世田谷区	●	—
渋谷区	●	● ※1
中野区	●	— ※7
杉並区	●	● ※1
豊島区	●	● ※1
北区	●	—
荒川区	●	—
板橋区	●	—
練馬区	●	● ※1
足立区	●	—
葛飾区	●	—
江戸川区	●	—

	償還払い (域外接種)	他自治体から の里帰り
八王子市	●	▼ ※3
立川市	●	▼ ※3
武蔵野市	●	◆ ※4
三鷹市	●	—
青梅市	—	▼ ※3
府中市	●	◆ ※4
昭島市	●	—
調布市	●	—
町田市	●	▼ ※3
小金井市	●	—
小平市	●	—
日野市	●	—
東村山市	●	▼ ※3
国分寺市	●	▼ ※3
国立市	●	—
福生市	● ※8	● ※1
狛江市	● ※10	● ※1
東大和市	●	▼ ※3
清瀬市	●	▼ ※3
東久留米市	●	◆ ※4
武蔵村山市	● ※8	— ※7
多摩市	●	● ※1
稲城市	●	—
羽村市	● ※8	—
あきる野市	—	◆ ※4
西東京市	● ※9	◆ ※4
瑞穂町	—	—
日の出町	—	—
檜原村	● ※5	—
奥多摩町	— ※6	—

※1：依頼元の自治体で「償還払い制度がない場合」は、定期接種のワクチンは区内の子どものと同様に助成（新宿区、墨田区、江東区、渋谷区、杉並区、豊島区、練馬区、福生市、狛江市、多摩市）。

※2：依頼元の自治体で「償還払い制度の有無に関わらず」、定期接種のワクチンについては区内の子どものと同様に助成（台東区）。

※3：依頼元の自治体との間で、「相互の受け入れに合意している自治体」からの里帰り出産のみ、予防接種の費用を助成（八王子市、立川市、青梅市、町田市、東村山市、国分寺市、東大和市、清瀬市）。

※4：依頼元の自治体で「償還払い制度がない場合で、かつ区内、市内に長期に滞在しなければならない事情」等を助成のうえ個々の事例で助成を判断（目黒区、武蔵野市、府中市、東久留米市、あきる野市、西東京市）。

※5：里帰り先で長期に滞在する事情などを考慮のうえ、個々の事例で償還払いを実施（檜原村）。

※6：里帰り出産による償還払いは行っていないが、「治療等の理由から町内での接種が困難な場合」は償還払いを実施（奥多摩町）。

※7：2020 年度で他自治体からの里帰り出産等における予防接種への費用助成を廃止（中野区、武蔵村山市）

※8：2021 年度から里帰り出産等により市外で接種した「子どもの定期接種」費用の償還払いを開始（福生市、武蔵村山市、羽村市）

※9：2021 年 7 月から里帰り出産等により市外で接種した「子どもの定期接種」費用の償還払いを開始（西東京市）

## ■「おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）」

2021年度は、新たに助成を開始した自治体がなく、都内25自治体で任意接種への助成制度がある。

	対象者（児）	助成金額	助成回数	
1	千代田区	1歳～就学前年度の3月31日まで	全額助成	1回
2	中央区	満1歳～小学校就学前年度（1回目） 小学校就学前年度（2回目）	4,000円助成／回	2回
3	新宿区	1歳～小学校就学前 （6歳に達する日以後の最初の3月31日まで）	自己負担3,000円（※1）	1回
4	文京区	満12か月～小学校就学前の3月31日まで	3,000円助成	1回
5	台東区	1歳～小学校就学前	3,500円助成	1回
6	品川区	1歳～小学校就学前	3,000円助成	2回
7	目黒区	1歳～4歳未満	3,000円助成（※2）	1回
8	渋谷区	1歳～4歳未満	全額助成	1回
9	中野区	1歳～小学校就学前	4,000円助成	2回
10	杉並区	1歳～小学校就学前	4,000円助成	1回
11	豊島区	1歳～3歳に至るまで（3歳の誕生日の前日まで）	全額助成	1回
12	北区	1歳～小学校就学前	上限3,500円助成	1回
13	荒川区	1歳～小学校に就学する年の3月31日まで	3,500円助成	1回
14	板橋区	1歳～2歳未満	3,000円助成	1回
15	練馬区	1歳～3歳未満（3歳の誕生日の前日まで）	3,000円助成（※2）	1回
16	葛飾区	1歳～2歳に至るまで	全額助成	1回
17	八王子市	満1歳～2歳未満（1回目） 小学校就学前年度（2回目）	自己負担3,000円（※2）	2回
18	武蔵野市	1歳～小学校就学前	自己負担2,500円（※2）	1回
19	昭島市	1歳～3歳未満	自己負担3,000円（※3）	1回
20	調布市	1歳～2歳未満	3,480円助成（※2） （自己負担額3,000円）	1回
21	小金井市	1歳～2歳未満	3,500円を自己負担	1回
22	東久留米市 医師会	1歳～2歳に至るまで （2歳の誕生日の前日まで）（※4）	自己負担2,000円	1回
23	西東京市	接種時に1歳（2歳の誕生日の前日まで）	自己負担3,100円（※2）	1回
24	瑞穂町	1歳～6歳未満	3,000円助成	1回
25	檜原村	1歳～7歳未満	全額助成	1回

※1：生活保護受給世帯の子どもは別途申請により自己負担免除（新宿区）

※2：生活保護受給世帯、中国残留邦人等の給付世帯の子どもは無料  
（目黒区、練馬区、八王子市、武蔵野市、調布市、西東京市）

※3：生活保護受給世帯、ひとり親世帯の子どもは無料（昭島市）

※4：対象者は、東久留米市に住民登録があり、これまでおたふくかぜに罹患したことがなく、かつ過去に1回もおたふくかぜ予防接種を受けたことがない児（東久留米市医師会）

※ 東京都では2007年度から、区市町村が独自に任意接種の助成を行う場合に、「1歳から就学前までの児」を対象に経費の1/2を補助している

## ■「季節性インフルエンザ」の助成

2021年度から、**大田区**、**国立市**が助成を開始。

	対象者（児）	助成金額	助成回数
1	千代田区	全額助成	生後6か月～12歳
	13歳～18歳（高校3年生相当）		
2	港区	3,000円助成 / 回	生後6か月～12歳
	13歳～15歳（中学3年生）		
3	新宿区	自己負担1,700円 / 回 （生活保護受給世帯等は無料）	13歳未満
	13歳～65歳未満の生保受給世帯等		
4	文京区	2,000円助成 / 回	生後6か月～12歳
	13歳～15歳（中学3年生）		
5	台東区	2,300円助成 / 回	生後6か月～13歳未満
	13歳～15歳（中学3年生）		
6	品川区	1,000円助成 / 回	1歳～小学6年生
	中学生（12歳以下は2回まで助成）		
7	大田区	1,000円助成 / 回	生後6か月～13歳未満（※1）
	13歳～15歳（中学3年生）（※1）		
8	世田谷区	1,000円助成 / 回	1歳～12歳
	13歳～15歳（中学3年生）		
9	渋谷区	全額助成	1歳～12歳
	13歳～15歳（中学3年生）		
10	中野区	1,000円助成 / 回	生後6か月～小学校就学前
11	葛飾区	1,000円助成 / 回	生後6か月～12歳
	13歳～15歳（中学3年生）		
12	立川市	1,500円助成 / 回	生後6か月～小学校6年生
13	昭島市	自己負担1,500円 / 回 （生活保護受給世帯等は無料）	13歳未満
	13歳～18歳（高校3年生相当）		
14	国分寺市	1,000円助成 / 回	生後6か月～小学校3年生
15	国立市	1,000円助成 / 回	生後6か月～小学校就学前（※1）
16	清瀬市	2,000円助成 / 回	生後6か月～13歳未満（※2）
	13歳～中学3年生相当まで（※2）		
17	瑞穂町	1,000円助成 / 回	1歳～小学校就学前
18	檜原村	自己負担2,700円 / 回	乳幼児～高校生（18歳まで） 生活保護受給世帯の方（年齢に関わらず） 「上記」および「高齢者インフルエンザ （定期接種）」の対象者以外の村民
	全額助成		
19	奥多摩町	2,000円助成 / 回（※4）	生後6か月～19歳未満（高校3年生相当）

※1：2021年10月1日から実施（大田区、国立市）

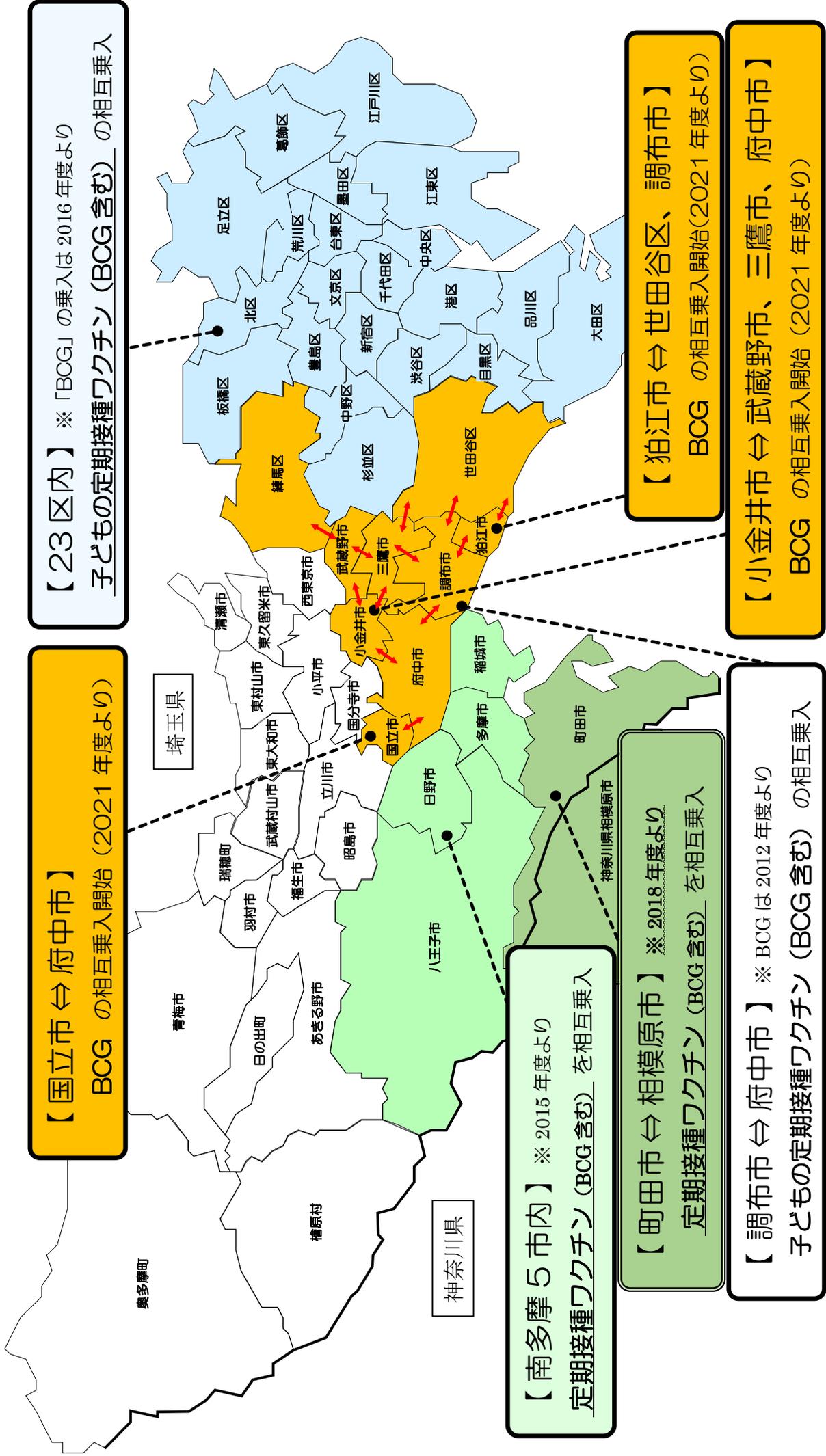
※2：「第2子以降」を対象にしていたが、2020年度からこの条件を撤廃（清瀬市）

※3：助成回数は年齢により異なる。例えば、3～13歳未満の児については2回接種が必要なので2回分を全額助成（檜原村）

※4：事前に申請のうえ接種した場合に限り、後日に2,000円を償還払い（奥多摩町）

## ■ 2021年度 都内区市町村における「BCG」の相互乗入状況

子どもの定期接種のうち、「BCG」については2012年度から「調布市 ⇄ 府中市」間で、2015年度からは「南多摩5市」の域内で、さらに2016年度からは「23区」の域内で相互乗入が行われている。2018年度から「世田谷区 ⇄ 調布市」間、「練馬区 ⇄ 武蔵野市」間、2019年度から「世田谷区 ⇄ 三鷹市」、2021年度からは「世田谷区 ⇄ 狛江市」で区部と多摩部をまたいだ相互乗入が行われているほか、2018年度から町田市と神奈川県相模原市との間で都県をまたいだ相互乗入が行われている。



## ■ 東京都の「子ども医療費」助成制度（2021年度）

	マル乳（義務教育就学前）					マル子（義務教育就学児、小・中学生）				
	対象年齢		所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢		所得制限	自己負担	入院時食事
	入院	通院				入院	通院			
東京都	6歳 年度末	6歳 年度末	—	—	—	15歳 年度末	15歳 年度末	あり ※1	200円 ※2	—

※1：東京都から区市町村への補助対象となる「所得制限額」は、児童手当法の所得制限と同額。

【参考】児童手当法の所得制限限度額（カッコ内は収入額の目安）

※ 一律控除の8万円を除いた金額で、4人目以降は省略（計算方法は38万円加算/人）

扶養人数： 0人=622万円（833.3万円） / 1人=660万円（875.6万円） / 2人=698万円（917.8万円） / 3人=736万円（960万円）

※2：自己負担は「通院1回につき200円」であるが、通院に伴う「調剤」のほか、「入院分」については全額助成となる

## ■ 23区の「子ども医療費」助成制度の概要（2021年度）

	マル乳（義務教育就学前）					マル子（義務教育就学児、小・中学生）					
	対象年齢		所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢		所得制限	自己負担	入院時食事	
	入院	通院				入院	通院				
1	千代田区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※3	18歳年度末※3	—	—	—
2	中央区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
3	港区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
4	新宿区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
5	文京区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
6	台東区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
7	墨田区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
8	江東区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
9	品川区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	18歳年度末※5	15歳年度末	—	—	●※4
10	目黒区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
11	大田区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
12	世田谷区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
13	渋谷区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
14	中野区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
15	杉並区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
16	豊島区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
17	北区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※5	15歳年度末	—	—	—
18	荒川区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
19	板橋区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
20	練馬区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4
21	足立区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
22	葛飾区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
23	江戸川区	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※4	15歳年度末	15歳年度末	—	—	●※4

※3：2011年4月から、区独自に「高校生等医療費助成制度（15～18歳の年度末）」を開始。所得制限はなく、助成は“現物給付”方式による全額助成。千代田区以外の医療機関で受診した場合等、償還払いでの対応もあり。（千代田区）

※4：入院時食事療養費は、いったん自己負担分を支払った後、領収書等とともに申請することで“償還払い”を受けることができる（中央区、港区、新宿区、台東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、豊島区、練馬区、江戸川区の12区。なお、豊島区はマル乳（義務教育就学前）に限る）

※5：北区は2011年7月から、品川区は2019年7月から、区独自に「高校生等の入院医療費助成（15～18歳の年度末）」制度を開始。所得制限はなく、助成は“償還払い”方式による全額助成。

## ■ 多摩部の「子ども医療費」助成制度の概要（2021年度）

	マル乳（義務教育就学前）					マル子（義務教育就学児、小・中学生）					
	対象年齢		所得制限	窓口負担	入院時食事	対象年齢		所得制限	自己負担	入院時食事	
	入院	通院				入院	通院				
24	八王子市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
25	立川市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
26	武蔵野市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※10	18歳年度末※10	—	—	—
27	三鷹市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—※12	200円	—
28	青梅市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
29	府中市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	—	—
30	昭島市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
31	調布市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—※12	200円 ※11	—
32	町田市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—※13	200円	—
33	小金井市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	▲※9	200円	—
34	小平市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
35	日野市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	—※7	—
36	東村山市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
37	国分寺市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	▲※9	200円	—
38	国立市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※8	15歳年度末	15歳年度末	—※12	200円	●※8
39	福生市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
40	狛江市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※10	18歳年度末※10	▲※14	200円	—
41	東大和市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
42	清瀬市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
43	東久留米市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※8	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
44	武蔵村山市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	●※8	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
45	多摩市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
46	稲城市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
47	羽村市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
48	あきる野市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	あり※6	200円	—
49	西東京市	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—	200円	—
50	瑞穂町	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	15歳年度末	15歳年度末	—※13	200円	—
51	日の出町	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※10	18歳年度末※10	—	—	—
52	檜原村	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※10	18歳年度末※10	—	—	—
53	奥多摩町	6歳年度末	6歳年度末	—	—	—	18歳年度末※10	18歳年度末※10	—	—	—

※6：所得制限については、児童手当法にもとづく「東京都基準」と同じ

※7：2017年10月から自己負担200円を撤廃したが、所得制限は残る。

※8：入院時食事療養費は、いったん自己負担分を支払った後、領収書等とともに申請することで“償還払い”を受けることができ（国立市、東久留米市、武蔵村山市。武蔵村山市は「マル乳」、東久留米市は「0歳児」に限る）

※9：国分寺市は2017年10月、小金井市は2019年10月から、「小学校3年生修了前」までの児について所得制限撤廃。

※10：日の出町は2011年4月、奥多摩町は2013年4月、檜原村は2020年4月、武蔵野市は2021年4月（通院は2022年）から、狛江市（住民税非課税世帯のみ）は2021年10月から、市・町・村独自の医療費助成制度（15～18歳の年度末）を開始。

※11：調布市は2016年10月から住民税非課税世帯の自己負担（200円）を撤廃。

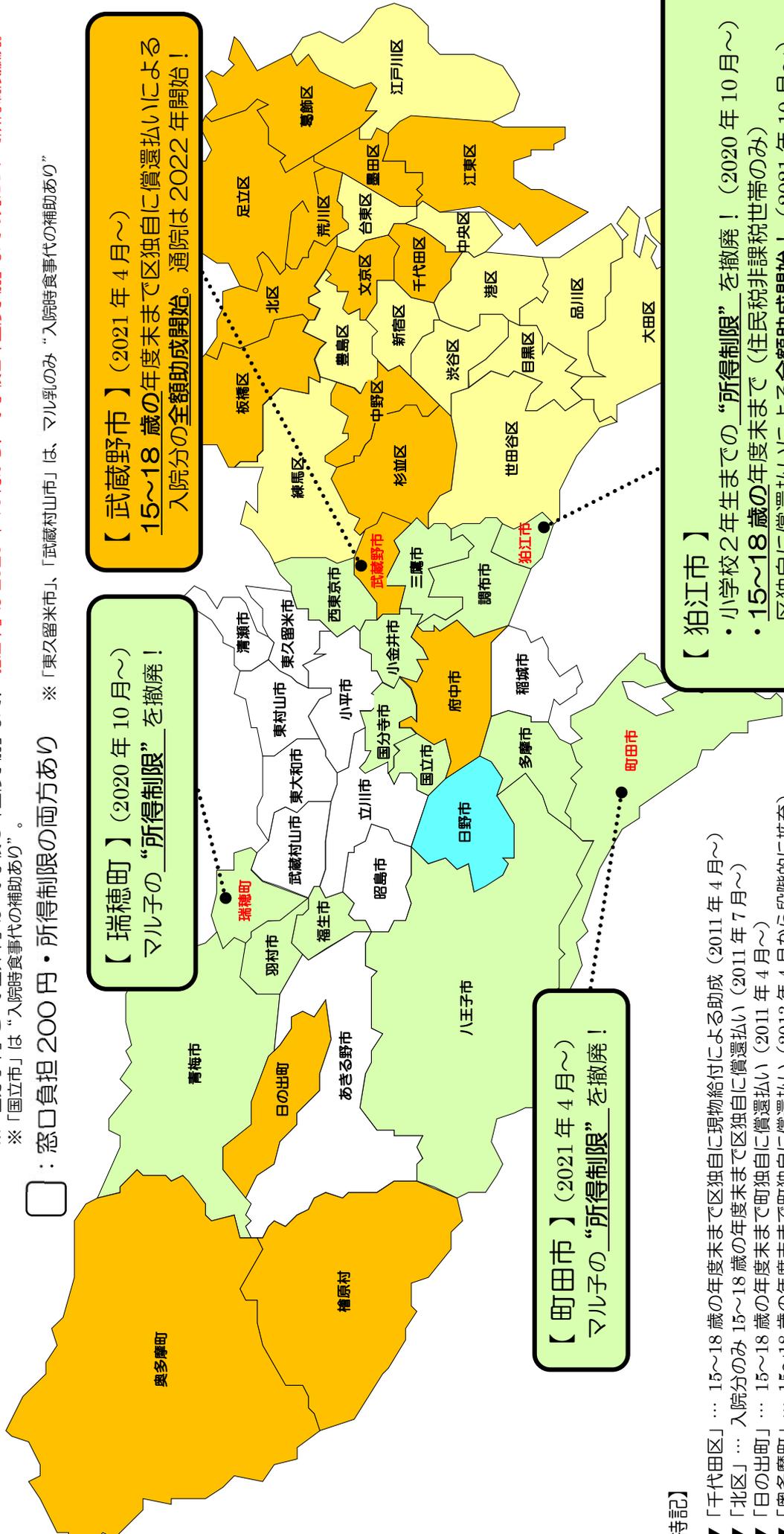
※12：国立市は2018年10月、三鷹市と調布市は2019年10月から、小学校卒業までの所得制限を撤廃。中学生は所得制限の対象。

※13：瑞穂町は2020年10月から、町田市は2021年4月からマル子の所得制限を撤廃。

※14：狛江市は2020年10月から、「小学校2年生修了前」までの児について所得制限撤廃。

## ■ 都内区市町村における「子ども医療費助成制度」の窓口負担・所得制限等の現状

- : 窓口負担・所得制限なし（入院時食事代の補助あり） ※「豊島区」の入院食事代の補助は“マル乳”のみ（マル乳は×）
- : 窓口負担・所得制限なし
- : 窓口負担なし・所得制限あり
- : 窓口負担200円あり・所得制限なし  
※「国分寺市」と「小金井市」は「小学校3年生修了前」まで、「狛江市」は2020年10月から、「小学校2年生修了前」までの見について所得制限撤廃。  
※「国立市」は“入院時食事代の補助あり”。
- : 窓口負担200円・所得制限の両方あり ※「東久留米市」、「武蔵村山市」は、マル乳のみ“入院時食事代の補助あり”



【武蔵野市】（2021年4月～）  
15～18歳の年度末まで区独自に償還払いによる入院分の全額助成開始。通院は2022年開始！

【瑞穂町】（2020年10月～）  
マル乳の“所得制限”を撤廃！

【町田市】（2021年4月～）  
マル乳の“所得制限”を撤廃！

【狛江市】  
・小学校2年生までの“所得制限”を撤廃！（2020年10月～）  
・15～18歳の年度末まで（住民税非課税世帯のみ）  
区独自に償還払いによる全額助成開始！（2021年10月～）

- 【特記】
- ▼「千代田区」… 15～18歳の年度末まで区独自に現物給付による助成（2011年4月～）
  - ▼「北区」… 入院分のみ15～18歳の年度末まで区独自に償還払い（2011年7月～）
  - ▼「日の出町」… 15～18歳の年度末まで町独自に償還払い（2011年4月～）
  - ▼「奥多摩町」… 15～18歳の年度末まで町独自に償還払い（2013年4月から段階的に拡充）